

中国運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰

中国運輸局では、管内における環境保全又は交通バリアフリー等の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体を表彰し、優れた取り組みについて広く普及・促進することを目的として平成19年度から「中国運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰」を行っています。

令和2年度の表彰は、12月17日（木）にホテルメルパーク広島にて執り行いました。今年度は「環境保全部門」として6団体、「交通バリアフリー部門」として2団体を表彰しました。

◆「環境保全部門」

○福山通運株式会社は、平成29年より全国初となる車両全長25mのダブル連結トラックを開発・導入して運行地域を拡大するとともにトラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフト等による輸送の効率化や低公害車の積極的な導入により、CO₂削減に優れた取り組みを行っていること。

○アサヒタクシー株式会社は、グリーンスローモビリティを平成31年に全国で初めてタクシーに導入し、その普及促進に取り組み環境保全に貢献していること。

○一般社団法人日本自動車連盟中国本部は、2007年から長年にわたり「エコトレーニング」講習会を開催し、参加募集した一般ドライバーに対して、エコドライブの必要性・その実践方法についての理解向上を目指し環境保全に寄与していること。

○向島ドック株式会社は、内航海運事業者として、電気推進コンテナ船やリチウムイオン電池搭載ハイブリッド貨物船など環境負荷の少ない船舶を多年にわたり導入し、環境保全に貢献していること。

○株式会社三和ドックは、船舶から排出されるバラスト水による生態系破壊を防止するため、独自の最新3D設計技術を用いてバラスト水処理装置の搭載工事を多数の既存船舶に実施し、海洋環境の保全に貢献していること。

○サノヤス造船株式会社水島製造所は、パナマックスバルカーにおいて船型の改良を重ね、独自の技術を組み合わせることにより燃費性能を向上させ、国際的なEEDI（エネルギー効率設計指標、1トン1マイルあたりに排出するCO₂グラム数）規制値より優れた船舶を継続的に建造し、環境保全に貢献していること。

◆「交通バリアフリー部門」

○広島電鉄株式会社は、高齢者や障害者の特性や配慮の仕方について社内教育を計画的に実施し、「心のバリアフリー」の推進に積極的に取り組んでいること。また、本年11月には高速バスでは中国地方初となるリフト付バスを広島空港線に導入したこと。

○株式会社大谷山荘は、宿泊施設に関して、移動等円滑化を積極的に実施していることに加え、



表彰状授与の様子

高齢者、障害者等の多様なニーズや特性を理解し、適切な対応するための社員教育を長年にわたり実施し、ハード・ソフト両面の移動等円滑化の推進に取り組んでいること。
上記内容が受賞理由となっています。

中国運輸局では、引き続き運輸部門におけるCO₂排出量削減等の取り組みを通じた環境保全活動の推進や、高齢者、障害者等の円滑な移動等及び施設の利便性・安全性の向上を図るため、関係者と連携協力しつつ、環境保全及びバリアフリー化の促進に取り組んで参ります。



代表者謝辞



受賞者等集合写真